



「らら・むーぶ緑」は、ご高齢の方や障害のある方で、おひとりでお出かけすることが困難な方や不安のある方を福祉車両や自家用車でお手伝いします。お手伝いはさまざま（学校や病院への送迎、買物、お食事、観劇やコンサート、銀行や役所への御用、ドライブ、お墓参りなど等・・・）

## リフレッシュツアー報告

●10月19日（日）花菜ガーデン（平塚市）  
汗ばむ程の陽気の中、参加者、メンバー総勢16名で、平塚にある、「花菜ガーデン」に出掛けました。色とりどりの秋のバラが所狭しと咲き誇っていました。そのバラの前で、みんな揃って記念撮影（パチッ）。その後、園内を散策。ちょっと足を延ばして野菜ゾーンへ。そして、ガーデン内のショップで思い思いにお買い物を楽しみました。昼食は「ココス徳延」で、それぞれお好みの料理を注文。大満足の日でした。  
（梅澤和子）



## みどりKu フェスタ報告



●10月26日（日）「みどりKuフェスタ」を開催。  
今年も、組合員と地域のみなさんと交流できるフェスタになりました。毎年好評のおもち販売は、パック詰めするたびに大行列ができ、買えない人もいるくらいでした。餅つき体験では小さな子供さんも行列をつくり、ぺったんぺったん、元気におもちをつきました。初めての試みであった、野菜と果物の販売も好評で、通りがかりの人も買う程。実は、販売した野菜は、らら・むーぶ緑のメンバーMさんの育てた野菜です。デイフロアでは展示会を開催。足の計測も出来ました。ちらしを見て来てくださった方、福祉用具を購入したくて来た方、コーヒーを飲みながらおしゃべりに来た方などなど、たくさんの地域のみなさんがご来館になり、るるる\*みどり館をさらに知ってもらえるフェスタになりました。

（小林志子）

《らら・むーぶ緑の担当》  
らら・むーぶ緑では、ほっぺ保育室の一角で、樹脂粘土コーナーを担当。マグネット、ストラップ、ブローチ作りを体験してもらいました。たい焼きのストラップをいくつも作りたがり、止めるのが大変だった男の子。苺のマグネット作りに頑張る女の子と、ヘタ作りに悪戦苦闘するパパ。出来たブローチに嬉しそうな女の子など、家族連れで楽しんでもらえました。  
（鈴木 彰）

## るるる★サロンの紹介

るるる\*サロンは、原則毎月第4日曜日に近隣の方々にるるる館にお越しいただき、共に歌い、お茶をしながらおしゃべりを楽しむなど親睦を深めながら、福祉クラブ生協とそのW. C. O.の活動を理解して頂く事を目的にしたPR活動の一環です。

一方で、たまたま結成したバンドがこの活動に参加していますが、そのメンバー10名中5名が偶然にもらら・むーぶのメンバーです。

サロンもバンドも開かれた活動なので、是非参加してみてください。（高野治夫）



## リフレッシュツアー今後の予定



師走、1年は早いですね！ 今期に入り お花見ツアー、中華街御食事ツアー、羽田空港ツアー、花菜ガーデンツアーと4回実施致しましたが、どれも好評でした。

恒例の初詣は、健康で明るい年となるように **川崎大師祈願** を企画したいと思います。

お土産店、お食事など皆様に満足して、楽しんでいただけるよう下見に行って来ます。

そして春には、桜の下でおいしい弁当を食べながらの **お花見**。

初夏には、**バラ鑑賞か水族館** かなと思っております。

ご参加いただいている皆様のご意見を伺って企画したいと考えております。

来年も楽しいツアーを企画しますので、多いに楽しみましょう。（松本次夫）

## ワーカー紹介

チラシで「らら・むーぶ 緑」を知りました。

スローライフに適しているかと思いきや移動サービスのワークに入れていただき4ヶ月が経過、漸く、ワークの流れが分かり利用者さんとも顔なじみになりゆっくり、ゆったり、心ゆたかな生活に近づいています。

（櫻井忠義）



出かける日は平凡な日々の彩りです。

年を取っても障がいがあっても行きたい所に行ける そんなシステム作りのお手伝いがしたいと思い、14年間 送迎一筋に関わってきました。

ららを手伝わせてもらえて、やはり 送迎は私の天職？ などと思っています。

（金野明子）

☆☆☆☆ あなたも、「らら・むーぶ 緑」の送迎を使ってみませんか？ 何か役に立つことをしてみたい方、あなたの余裕時間を少しだけ使ってみませんか、ワーカーも募集しています。お気軽にお問合わせください。☆☆☆☆

電話 045-511-8401

### 編集後記

春に2度の大雪に見舞われ、秋には、2週連続の台風がありました。そして御嶽山噴火つい最近では長野地震など、天変地異騒がしい年でした。来年はひつじの年ですが、'ひつじ'には家庭が安泰で、おだやかに平和に暮らせるとのいわれがあるそうです。来年も、干支の謂れのように安全や安心を第一に心がけてまいります。



